

館報

開村
150周年



1 月号

やまがた

No. 813

令和6年
(2024年)



働く姿

ねばねば いきます
150th
anniversary
山形村 開村150周年

最前線の農業を学びたい

しらい みほ
白井 海帆さん

昨年度、松本ハイランド農協に入組^{にゅうぞ}し、山形支所営農生活課に配属された白井さん。長野県農業大学校の農学部（松代キャンパス）を卒業し、農協職員として農家の方と一緒に山形村の農業を盛り立てています。「仕事をしながら学校では学べなかったことを経験し、食にかかわる農業をもっと知りたいです。やりがいを感じる職場は農家の皆さん、上司、先輩方のおかげです」と話してくれた白井さんからは、飽くなき探究心と農業へ寄せる熱い想いが伝わってきました。

(12月19日 松本ハイランド農協 山形支所内にて)

新年のごあいさつ

新春を迎えて

山形村公民館長
百瀬 純雄



新年あけましておめでと
ございます。

旧年中は、公民館活動へのご協力ありがとうございました。新型コロナウイルス感染症は5類へ移行して規制も緩和され、公民館活動も正常に戻りつつあります。山形小学校のしだれ桜のライトアップ、桜の下コンサート（4月4日火・5日水）、山形ウィンドアンサンブル・山形小学校PTA・公民館共催）・夏祭り山形じゃんずら（8月14日月）、実行委員会方式で公民館は共催）・総合文化祭（11月4日土・5日日）など多くの行事を行うことができました。『桜の下コンサート』は久しぶりで、『じゃんずら』と

『総合文化祭』は4年ぶりに行うことができました。特に『じゃんずら』は村内の若者たちの協力をいただき、『じゃんずらぶろじえくと』、略して『じゃんぶろ』というワーキンググループを結成しました。何回も会議を開き、①保育園・小中学校へのオリジナル団扇の配布とそれを使ったペア探し、②村ゆかりのアーティストによるバンド演奏、③日頃言えない思いを舞台上で叫ぶ『村民の主張』などイベントの企画で祭りを盛り上げてくれました。これから『じゃんずら』だけでなく、公民館や山形村の行事などに若者の感性をいただきたいと思えます。10月8日(日)に予定した『村民運動会』は中止、代替企画を練る時間があるので、開催を1月28日(日)に変更し、『新春やまがたニュースポーツイベント』を行います。その他の動きとして、山形村みどりと環境を守る会・山形村赤十字奉仕団・山形村社会福祉協議会・自然保護集団アクアの会・山形村教育委員会・山形村公民館の6団体共

催企画『トスマイルみどりん』に参加できたことです。山形村みどりと環境を守る会からお声がけいただき、5月20日(土)に花の苗定植・さつまいもの苗定植・とうもろこしの種蒔きを一緒にしました。今年は今後の公民館のあり方・方向性を決める年にしたと思います。より村民に近い分館の活動が少しずつ動き始めてきています。今年は一層活発になるように、本館も寄り添っていきます。公民館の理念である『集い・学び・結ぶ』を実現できる、実感できる公民館でありたいと思います。そのためには公民館単体ではなく、同じ思いで協力できる他団体と共に企画し、共催していききたいと思えます。一緒にやりましょう!! また『じゃんぶろ』のような若者のワーキンググループと一緒に何が若者たちの楽しい思い出作りになるのか、何を求めているのか、どのような企画に参加したくなるのかなど、一緒に知恵を出し合いましょう!!
楽しんで、わくわくする公民館にしまししょう!!!



告知板

令和6年4月1日(月)からの施設予約について

トレーニングセンター、ミラ・フード館、ふれあいドーム、小学校施設（体育館、グラウンド）の施設予約が、**3月15日(金)**から始まります。予約は使用の3ヶ月前から受付可能です。

(例) 3月15日(金)→6月14日(金)まで受付可能

- 窓口予約…午前8時30分から ※ミラ・フード館は午前9時から
- 電話予約…3月15日(金)のみ混雑が予想されるため、電話予約は午前11時からになります。

お問い合わせ 山形村教育委員会 ☎0263-98-3155

遺跡発掘調査速報展の開催について

1. 期間 令和6年2月6日(火)から2月25日(日)まで
2. 会場 ミラ・フード館 1階ロビー
3. 内容
 - ・殿村遺跡第2次調査出土品（縄文中期の土器や石器）
 - ・洞遺跡第3次調査出土品（縄文早期末の土器や石器・県内最古級の管玉）

山すそ

昨年は必要に

駆られてDIYに精を出す1年だった。6月から10月まで毎日2時間程度、時間を決めてコツコツと励んだ▼まず、荒れ放題になってしまった裏庭の改修工事に着手した。整地して畦畔を並べて30m先の小屋への道を整備したり、古池の泥を上げ、石を運び、気がつけば藤棚まで作っていた。DIYというよりもはや庭師だ▼畑で農業用ビニールハウスも建てた。せっかくなので妻面が両入り口の仕様で、吊り扉を完全自作した▼家の中でもPCの設置場所を悩んでいたが、アルミ材を切って加工して、机の天板下に直付けする特殊なPC棚が完成した▼DIYの秘訣は、綿密に設計と工程を作ることだ。実作業とは別に頭フル回転の時間を作ることで素材費を最小限にできる他、何かワクワクする▼お店に無いなら作るしかない。勿論失敗もあると思うが、上手くできた時の愛着は大きく、できないことができるようになるのはいくつになっても楽しいことである▼果たして今年はどうなる難題に巡り会えるだろうか。

令和5年12月～令和6年1月 村内の出来事

消防団年末特別警戒

12月25日(月)、役場南側駐車場にて山形村消防団年末特別警戒激励式が執り行われました。

本庄団長から、寒い中の警戒ですが体調を崩さぬよう、防火と防犯に、また村民の安心と安全のため年末までの警戒ですが、よろしくお願いますとあいさつがありました。その後、警鐘を鳴らしながら担当地区の巡回に入りました。



消防出初式

松本平が雪化粧に包まれた1月8日(月・祝)、山形村消防出初式が行われました。未明からの雪は朝方におさまり、快晴のもと、役場北側の道路を消防団員が進出したのち、トレーニングセンター体育館にて式典を行い、元日に起きた能登半島地震から7日目にあたるこの日、地震への備えと防災に努める気持ちを新たにしました。



山形保育園もちつき会

12月15日(金)、山形保育園にて、もちつき会が行われました。お餅をついている時、見ている園児や先生で「よいしょ、よいしょ」と大きな声を掛けながら応援をしま



した。ついたお餅は鏡餅として保育園や役場などに飾られました。みんなでお餅を触った時に「やわらか〜い」と声が挙がりました。

山形保育園クリスマス会



12月22日(金)、山形保育園にてクリスマス会が行われました。園児たちの「サンタさ〜ん」の呼び声と共にサンタクロースが入場すると場内は割れんばかりの大歓声が響き渡りました。サンタさんから1人ずつプレゼントをもらうと、みんな嬉しそうに「ありがとう」とお礼を言っていました。

やまのこ保育園 お楽しみ会

12月15日(金)、やまのこ保育園にてお楽しみ会が行われました。朝日村を中心に活動する『ほっこり座』を招いての人形劇の観劇があり、給食はクリスマスにちなんだ特別メニュー、また園から子どもたちへ冬に楽しく遊べるプレゼントが贈られました。この日のために子どもたちが制作したクリスマスの飾り付けで溢れる1日となりました。



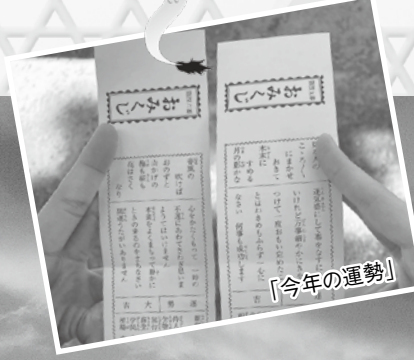
2024 新年のフотスナップ



「孫と餅つき」



「天高く上げれ」



「今年の運勢」



「初詣」

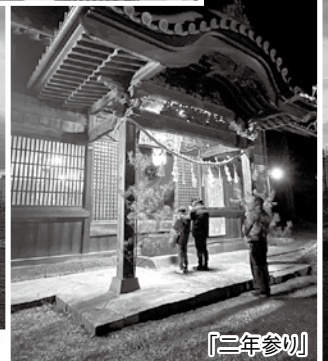
初日から大地震に見舞われた令和6年の年明けとなりました。
 山形村も震度3を記録し、不安な一夜を過ごした方も多かったと思います。震源に近い石川県輪島市をはじめとする被災地では多くの方が犠牲になり、今も不自由な生活を強いられています。一刻も早い復興を心よりお祈りいたします。
 近年続く不景気や閉塞感、後を絶たない汚職と競争のニュース。暗くなりがちな今こそ、心を強く前向きに持って、しっかりと誠実に一歩一歩踏み出していききたいですね。
 救いとなるよう、お正月のフオトスナップとして 明るいものを選びました。



「三九郎」



「松飾り」



「三年参り」



「独楽回し」



「おせち弁当」



「元旦の食卓」



「今年もよろしく」

山形村データあれこれ

| | |
|-----|--------------|
| 人口 | 8,523人(10人減) |
| 男 | 4,216人 |
| 女 | 4,307人 |
| 世帯数 | 3,183世帯 |

| | |
|-----|-------------|
| 出生数 | 40人(10人減) |
| 死亡数 | 106人(14人増) |
| 転入数 | 293人(47人減) |
| 転出数 | 235人(118人減) |

※カッコ内は昨年同月との比較(役場住民課調べ12月末現在)

村内における人身事故

| | |
|-----|-----|
| 件数 | 19件 |
| 負傷者 | 23人 |
| 死亡者 | 0人 |

(松本警察署調べ12月末速報値)

村内における消防出動

| | |
|-----|------|
| 火災 | 4件 |
| 救急 | 321件 |
| 救助 | 2件 |
| その他 | 37件 |

(松本広域消防局調べ12月末現在)

山形村の辰年生まれ人口

令和6年(2024年)1月1日現在
 役場住民課調べ 単位:人

| 生まれ年 | 年齢 | 男 | 女 | 計 |
|--------------|-----|-----|-----|-----|
| 昭和3年(1928年) | 96歳 | 1 | 13 | 14 |
| 昭和15年(1940年) | 84歳 | 25 | 36 | 61 |
| 昭和27年(1952年) | 72歳 | 45 | 56 | 101 |
| 昭和39年(1964年) | 60歳 | 62 | 58 | 120 |
| 昭和51年(1976年) | 48歳 | 80 | 67 | 147 |
| 昭和63年(1988年) | 36歳 | 51 | 40 | 91 |
| 平成12年(2000年) | 24歳 | 46 | 33 | 79 |
| 平成24年(2012年) | 12歳 | 50 | 43 | 93 |
| 合計 | | 360 | 346 | 706 |



「書初め」

全国中学生人権作文コンテスト長野県大会入賞作品紹介

全国中学生人権作文コンテスト長野県大会（主催：長野県方法務局・長野県人権擁護委員連合会）は、次代を担う中学生が作文を書くことを通じて、人権尊重の重要性を理解し、豊かな人権感覚を身に付けてもらうことを目的として開催されています。

この度、鉢盛中学校に在学中で山形村出身の堀愛姫さん（3年生・上大池）と藤谷里凜さん（3年生・小坂）が県大会において上位入賞されました。館報やまがたでは1・2月号にわたり、お二人の作文を紹介したいと思います。本号では、長野県教育委員会賞を受賞された堀愛姫さんの作文をご紹介します。

長野県教育委員会賞 なあんにも変わらないから

鉢盛中学校 3年堀愛姫さん（上大池）



カリカリと鉛筆の走る音の中に、不意に「パンッ」とドアを開ける音が飛び込んだ。私は思わず「うわぁ」と声を上げる。すると驚いた私の表情に満足したのか、祖父はいたずらっぽい笑顔を見せながらずっとお茶を差し出して、「頑張れよ。」とピースサインを向ける。私も「ありがたう」の意味を込めながらピースサインをする。このように、祖父とはジェスチャーを取り入れながら会話をすることが多いです。なぜなら、祖父は声を出すことが難しいからです。

私が保育園くらいの時、祖父は喉頭がんという病気になり、声帯を摘出する手術を行って、声を失いました。病気を治すためには声を引き換えにしなければいけなかったとはいえ、声を失うという話もぐっと不便になってしまふということ、私には想像できないほど不安な気持ちでいっぱいだったと思います。しかし祖父は私達の前ではいつもニコニコと弱気になっていて、一切見せませんでした。しかし、そんな祖父の気も知らずに、幼かった私は話すことが難しくなった祖父に対して、冷たい態度を取ってしまうことがあ

りました。いつもの祖父は消えてしまつて、今の祖父を偽物のような気持ちで見えてしまったのです。

ある時、祖父は私に言いまして。「愛ちゃん、じいじは声がうまく出なくなつちやつたけど、なあんにも変わつてないんだよ。」と。その時のカラカラした声と、真剣な眼差しは今でも覚えています。その眼を見て私はハッとしました。祖父の手先が器用なところも、お風呂に入るのが大好きなところも、私の頭をワシヤワシヤなでくれるところも、全部全部、私の大好きな祖父のまま、何一つとして変わつてしまったことは無いということ。途端に今まで冷たい態度をしてしまったことなどが頭に流れてきて、祖父に申し訳ない気持ちで胸が押し潰されそうでした。それから少しづつではありましたが、祖父と向き合つていくことができました。

そんな体験があつて私が考えたのは、障害を持つている人も、障害を持つていない人も、みんないっしょだよということ。身体に不自由がある方、知的な障害がある方、

なんの不自由もない方。この世界はいろんな人がいます。誰一人としてそっくり同じことではないと思います。しかし、障害がある・なしに関わらず、人からちよつかいをかけられたり、悪口を言われたりしたらどんな気持ちになるでしょうか。きっと嫌な気持ちになることは間違いないです。楽しい・うれしい・悲しいなどの感情は誰もが同じように持つていて、私はみんないっしょだよと思います。

しかし、思いや考えは誰一人として同じではありません。そこです。思ったのは、障害がある方にとつて「かわいそう」や「大変だね」などといった同情は、ある種の偏見ではないのかと。祖父も「自分に気を遣つてくれる優しさはありがたいけど、これが自分の普通であつて、他人にとつての普通を押し付けられないでほしい」と話してくれました。自分らしく生きていく中で相手に勝手な印象をつけられて、生きづらくなつてしまつていく人がいたら悲しいなと思いました。私も車イスに乗つていてる方に「大変なんだろうな」といった印象をつけてしまつたこともありましたが、みんなが平等に暮らしていくには

このような偏見を少なくしていくことが大切なのかと思ひました。

偏見を少なくするために必要なことは、その人と関つてどんな人なのかをお互いに知つていくことだと思ひました。そのためにも会話をしたり、その人に歩み寄つていくための理解や優しさを少しでも持てたら素敵だと思ひました。平等な関係でお互いを尊重していくことが平和な社会への第一歩だと思ひます。

私が祖父から学んだことは、気づかないだけでもつとあると思ひます。祖父との一件もあつて、「会話は大切なことなのだな」とこの作文を書くにあつて、過去を思い出すと感じました。人をつなぐものは今の時代はたくさんあるけれど、直にその人を感じられるのは目を見て話すことかなと思ひました。

今の私と祖父は仲良く生活してはいますが、やっぱり私の中ではあの時の後悔する気持ちが残つていて、きつと祖父もあの時の悲しい気持ちほどどこに残つていてると思ひます。昔の私に会えるなら、昔の私に言葉が届くなら、私はこれを言うでしょう。

「じいじはなあんにも変わつていないんだよ。」と。

次号では、優秀賞を受賞された藤谷里凜さんの作文をご紹介します

上竹田分館
人権学習会



12月10日(日)、上竹田分館主催の『人権学習会』が上竹田公会堂で開かれました。「日々生活する上で知っておかねばならないことを見直し、学習すること」を目的として山形村教育委員会事務局の人権担当小井戸あやかさんを講師に迎え『日常の中の多様性』の演題のもと、多様性、LGBTQ(セクシャルマイノリティ)について学びました。『地域の夏祭り』を題材にした人権ドラマを鑑賞したのち、多様性をテーマとしたミニ討論会を行い、理解を深めることができました。

防犯ポスターコンクール
表彰式

12月18日(月)、山形小学校にて、山形村防犯協会が主催する防犯ポスターコンクールの表彰式が行われました。61点の応募作品から最優秀賞1点、優秀賞2点、佳作4点の計7作品が入賞。入賞者には、参加賞の鉛筆に加えて賞状と消しやすクリナーが贈られました。最優秀賞に選ばれた友森咲翔さん(5年2組)は、「ニュースで万引きが増えていると知って、万引きをテーマにしました。万引きで家族や友達が悲しむ様子を描きました。日本から犯罪をなくしたいです」と話してくれました。



～最優秀賞作品～
作者：友森 咲翔さん (5年2組)

- 優秀賞：大月 牙恵さん(6年1組)
平井 康裕さん(5年2組)
佳 作：百瀬 紘菜さん(5年2組)
宮澤 慶さん(5年2組)
内堀 和希さん(5年3組)
野村 梨乃さん(5年3組)

サイレン(通称：ボー)に関するアンケート調査の実施について

全国版のニュースでも議論になったお昼と夕方に鳴っている役場のサイレン、通称「ボー」。サイレンを巡っては賛否両論の声を受け、存廃が検討され、昨年12月からはサイレンの鳴る時間を36秒から24秒に短縮し、今後も継続する方針が示されました。昔から当然のように響き渡っていたこの音ですが、率直なところ村民の皆さんはどう思っているのか調査したいと思います。とても簡単なアンケートですので右下のQRコードからスマートフォンなどでぜひご意見をお寄せください。



皆さんのご意見
お聞かせください

回答期限
2月29日(木)



今回のアンケート結果については、館報3月号でお伝えする予定です。

おやじ塾
活動記録

沖縄料理体験
12月22日(金)

講師に地域おこし協力隊の幸地慶さん(下竹田※沖縄県出身)を迎え、身近にある食材を使って『サーターアンダギー』と『サツマイモで作る紅芋風タルト』を作りました。料理では、生地を練ることやサツマイモの裏ごしに少し手間がかかりましたが、どちらも上手に作る事ができました。最後にみんなで試食をしてみ



完成したサーターアンダギーとタルト

ると、「美味しい！家庭でも簡単に作れそうなので試してみたい」といった声が聞かれました。



- おめでた字・題 (敬称略)
- | | | | | | | | |
|-----|-----|-----|-----|-----|----|----|----|
| 塩原 | 中川 | 箕町 | 百瀬 | 萩原 | 小穴 | 武井 | 千村 |
| 晴治 | 昌丸 | 健 | 章 | 澄心 | 透雅 | 梨杏 | 昂晴 |
| 78歳 | 97歳 | 93歳 | 70歳 | 香真 | 香祥 | 萌香 | 清裕 |
| 下大池 | 上大池 | 下大池 | 下竹田 | 菜輝 | 織 | 小坂 | 小坂 |
| | | | | 上竹田 | | | |



ついに山形小学校にも “大谷グローブ” がキター！



メジャーリーガーの大谷翔平選手(岩手県出身)が、国内全ての小学校に寄贈すると発表していたグローブが1月5日(金)、ついに山形小学校にも届き、9日(火)の3学期始業式にて全校児童へお披露目されました。グローブは右利き用2個、左利き用1個の合計3個で、それぞれ小指の部分にはサインが印字されています。また、グローブには、子どもたちへのメッセージが込められた手紙が添えられていましたので、館報読者の皆さんにもその全文をお伝えします。
※手紙を書いたタイミングが移籍前だったとみられ、所属はエンゼルスのままとなっております。

学校関係者各位
貴校ますますご清栄の事とお慶び申し上げます。
ロサンゼルス・エンゼルス・オブ・アナハイムのメジャーリーガー、大谷翔平です。
この手紙は、このたび私が学校に通う子供たちが野球に興味を持つてもらうために立ち上げたプログラムをご紹介するためのものです。
この3つの野球グローブは学校への寄付となります。それ以上に私はこのグローブが、私たちの次の世代に夢を与え、勇気づけるためのシンボルとなることを望んでいます。それは、野球こそが、私が充実した人生を送る機会を与えてくれたスポーツだからです。
このグローブを学校でお互いに共有し、野球を楽しんでもらうために、私からのこの個人的なメッセージを学校の生徒たちに伝えていただければ幸いです。
この機会に、グローブの寄贈をさせていただきます。
とに感謝いたします。
貴校の益々のご発展をお祈り申し上げます。
野球しようぜ。
大谷翔平

野球に限らずどんなスポーツでも、文化系でも、『自分の夢にチャレンジしてみよう!』といった大谷選手の想いが込められているのではないのでしょうか。このグローブがきっかけとなり、山形っ子の夢へのチャレンジの扉が開かれることを願います。

みんなの人権 104

“みんながって、みんないい”と「お互いさま」のころ…山形小学校「なかよし人権講話」を聴いて



◇昨年(令和5年)の秋は、「人権の視点」から、「みんながってみんないい(金子みすゞ)」について考える新鮮な機会に出会いました。

1つは、昨年11月末「第42回全国中学生人権作文コンテスト長野県大会」に鉢盛中学校の生徒2名が入賞したこと。声が出にくくなってしまった祖父とのふれあいや友人関係など家庭や学校での身近な体験を通して『多様な個性』を認め合いながら生きていくことの意味を具体的に問うている作品でした。2つ目は同じ頃実施された山形小学校「なかよし講演会」での講師と子どもたちとの学び合い◇例年11月から12月にかけては「人権強化週間」として多彩な催しが行われます。我が村でも、秋の人権教育推進委員会・研修会が催され、山形小学校で子どもたちと一緒に人権講話をお聴きしました。インフルエンザの早い襲来のため、子どもたちは各教室で、村の大人たちは視聴覚室でオンライン視聴となりましたが…◇講師は先天性心疾患患者で長野県ヘルプマークディレクターの猪又竜さん。オンライン参加講師は筋ジストロフィー症のため車いすユーザーの井出今日我さん。テーマは『多様性と助け合いの社会を知ろう』◇猪又さんは、オンラインで井出さんや各教室の子どもたちと会話をしながら、『共生社会』を描いたポスターを使って、自分たちの住んでいる地域にはいろんな特徴を持った人が共に過ごしていることを、ユーモアを交えながら話してくれました◇そして、車いすユーザーの人、心臓が悪い人、目の見えない人、人工呼吸器をつけた人など、さまざまな特徴を持っている人たちと交流を深める中から、お互いの多様性や自分にできないことを知り、相互に補い合って生きていくことが差別のない世の中づくりに繋がること、「助けて」と誰かに援助を求めるのは恥ずかしいことではないことを強調されました◇それはまた『できる時に、できる人が、できることを』無理をせず、支え合って生きていく『コミュニティづくり』の基本に通じる学びでもありました。奇しくも令和6年の幕開けは、元日には能登半島地震、2日には日航機と海保機との衝突炎上と、日本列島を揺るがすような天災と人災の連続。被災地の方々の悲惨な状況に言葉もありません。「安心・安全の確保」は、人権保障の基盤。昨秋の人権研修で学んだ「お互いさま」の大切さを反芻しながら、自分も、地域も、行政も、「危機管理の緒を締めねば」と痛感するこの頃です。
(令和6年1月M.H.記)

*ヘルプマーク(カード)は、養育や人工関節を使用している人、内部障害や難病の人、妊娠初期の人など、外見からは分からなくても援助や配慮を必要としている人が、周囲の人に配慮を必要としていることを知らせることで、援助を得やすくなるように作られたマークのことです。

山形村俳句クラブ

祝開村150周年

頌春

川柳あららぎ

| | |
|-----------------|---------|
| 開村は明治でありぬ雪積る | 大野 今朝子 |
| 黒文字の箸の弁当初仕事 | 竹野入 恒夫 |
| できぬことに抗ひながら年明くる | 竹野入 美奈子 |
| 年越しに心寂しき二人鍋 | 横山 万里子 |
| 甲斐駒ヶ岳の稜線遙か淑氣満つ | 武居 弘 |
| 肴やに予約入りぬ三日かな | 武居 香織留 |
| 酒粕を練り込む石鹼香を醸す | 鈴木 まゆみ |
| 神棚に注連縄かざり安堵せり | 青木 彌生 |
| 木屑から伊勢海老飛出せり長き髭 | 大澤 富久子 |
| 波の花聞きつ眠れぬ越の宿 | 住吉 愛子 |
| ゆるやかに鳶の舞ひたる初御空 | 古畑 房子 |
| 何よりも家族の笑顔今朝の春 | 上條 治子 |
| 百才は人の実りよ実南天 | 上條 忠昭 |
| 先人の希いと智慧を継ぐや春 | 荻上 憲治 |




2024

館報やまがたへの情報提供募集中

身近な情報・感想をお寄せください

フォーム 下のQRコードを読み取ってください。

電話 山形村公民館 ☎0263・98・3155



| | |
|------------------|--------|
| がんばろう足手まといにならぬよう | 古畑 弘子 |
| 手足振りラジオ体操一 二 三 | 青沼 道子 |
| お互いの手足となって辿る老い | 上條 民雄 |
| 達磨さん手足無いのに皆頼る | 上條 光男 |
| しめ縄は親父の手元盗み獲る | 中村 一博 |
| 一人占め手足伸ばしていい湯だな | 上條 善清 |
| 店員が手取り足取りセルフレジ | 村井 稔 |
| 階段が野菜保管庫冬の内 | 村井 敏子 |
| 脱マスク素顔あらわれ紅をさす | 篠町 貞子 |
| 寒暖差ボケ気味脳も活性化 | 中川 功子 |
| サムライは生きて何ぼの鞍を替え | 上條 智佐雄 |

